

## Illusionist-8 感想 (千葉県 N 様)

前略 このたびは、Illusionist-8 (キャビネット:ホワイトオーク・フロントグリル:ディープブラウン) を作製・納品いただき、ありがとうございました。先週木曜日の到着から7日間、セッティングの追い込みと鑑賞を行いましたので、レポートいたします。

### ・開梱と設置



丁寧に梱包されたスピーカーを取り出しての感想は、キャビネット仕上げの美しさと天然木突板の豊かな香りへの感動とコンパクトなサイズにも関わらず思いのほか重量があるなということでした。

A & C オーディオさんのショールームで試聴させていただいた時から感じていましたが、「これが本当に手作り？」と感動するほど造形の正確さと美しさがあり、不器用な私には想像もつかない島津さんの高度な技能に敬服します。その感動は、フロントグリルの裏側にも見て取れます。なぜこんなに美しく作れるのでしょうか？

ショールームで試聴させていただいた時は、実機を持たせていただきませんでしたので、この重さは想像以上でした。物量を投じた特殊構造の制振キャビネットなどによるものなのでしょうね。

取り敢えず、前のスピーカー (DALI Zensor3) と入れ替えるだけの状態で試聴を開始しました。

### ・セッティング追い込み



最初に奏でられた音は想像と違い、高低ともに帯域に伸びがない硬質なものに感じ、やはりエージングが行わないと本来の音質は得られないだろうと判断し、島津さんにエージング時間のアドバイスをお願いするメールを送信した次第です。

翌日の島津さんからの返信でご指摘いただいた機器のウォーミングアップの必要性には、恐縮至極です。確かに仕事帰りの夜に、はやる気持ちを抑えながら短い時間で試聴したため忘れておりました。また、取扱説明書でスパーサーにはゴム系やフェルトを推奨されていたので、インシュレーターを金属系のAT682 から、防振ゴムを含む構造をした AT6099 に変更してみたところ症状がだいぶ改善されました。また、前のスピーカーと同じ設置ですと少し内向き過ぎたようです。左右のスピーカーをより平行方向にしてみたところ、定位はそのままに音場が広がりました。

まだまだセッティングに改善の余地があると思いますが、休日を中心にいろいろなソースを鑑賞してみました。

## ・本格試聴

まず、スピーカー以外の現在のシステムをご紹介します。自慢できる代物ではありませんが。



プリメインアンプ（週末用）：Triode TRV-35SE（真空管 EL34 AB級プッシュプル）

プリメインアンプ（平日用）：Panasonic SU-MA10（DAC内蔵）

D/Aコンバーター：MUSILAND MD11（中華DAC、Analog Devices AD-1853搭載）

ユニバーサルプレーヤー：Pioneer DV-S757A（DACヘデジタル出力）

※ 通常は、Foobar 2000 インストールの PC を DAC 接続にて鑑賞



通勤族で借家暮らしであるため、六畳間にてニアフィールド・小音量で聴いています。

今までのスピーカーに比べ、帯域が無理なく（特に中～高音は）広がっていると感じます。音離れは大変良く、締まった低音も出てメリハリがあり、かつ温かみも感じるため、低音量でも聴き取りやすいです。また、箱鳴りを根絶しているため余計な付帯音や残響音がなく再生され、音像定位も明確なため（定位については、個人的には Illusionist-13 より上だと思っています）、特にヴォーカルと管楽器、打楽器が生々しく演奏されます。ヴォーカルについては、「ここ、ほんの少しだけ音程外しちゃったね」と気付いてしまうほどです（笑）

そして、今まで以上に聴き疲れしないため、長時間じっくり音楽を楽しむことができました。

## ・意外なことに

意外にも、日本民謡とも相性が良いと感じました（笑）

民謡好きだった祖母の影響で極たまに民謡を聞くのですが、尺八の管内の風切り音や歌声などがリアルに感じられマッチしています。今まで以上に積極的に民謡を聴きたくなりました。

また、低能率なスピーカーならではの副次的な効果もありました。今までと同じ音量で聞くためには、よりボリュームを上げなければなりません。9 時くらいの位置がちょうど良いです。そうすると、ボリュームの低い位置にあるときにありがちな左右のアンバランスやダイナミックレンジの低下が防げているようです。小音量で鑑賞するには最適かもしれません。

## ・最後に

もう少しセッティングを追い込めば、Illusionist-8 の理想の音に近づけるような気がしております。これは、本当に終のスピーカーになりそうです。これからもよろしく願いいたします。

このような素晴らしいスピーカーを生み出す A & C オーディオさんにおかれましては、今後ますますご発展されますことをご祈念申し上げます。